

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

# とう 雲 第3号

令和3年5月14日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## ○2年ぶりの支部陸上大会~2種目で優勝、県大会出場です!!~

5月12日(水)に、鏡石町鳥見山陸上競技場にて第53回中体連岩瀬支部陸上競技大会が開催され、稲田学園は2種目で優勝などすばらしい結果を残すことができました。

大会当日は、コロナ対策として無観客で大会が進められましたが、昨年度末より多くの練習を積み上げてきた特設陸上部の面々が、男子8種目、女子5種目にエントリーし、今できる最高の力を発揮し、下のようすばらしい結果を残すことができました。入賞者の皆さん、おめでとうございます！そして、参加したすべての選手や補助役員の皆さん、お疲れ様でした。

- 男子走高跳び 第1位 9年 ●● ●●
- 男子走高跳び 第3位 8年 ●● ●●
- 女子走幅跳び 第1位 8年 ● ●●●
- 中学2年女子 100m 第4位 8年 ●● ●●
- 中学3年女子 100m 第5位 9年 ●●●●●
- 共通男子 110mH 第6位 8年 ●●●●●
- 共通4×100mR 第6位 ●●●●●、●●●●●  
●●●●●、●●●●●



## ○思い出に残る運動会に~感染対策を万全に観戦を~



15日(土)に実施する運動会に向けて、準備期間は短かったのですが、前期課程を中心に学校全体で盛り上がってきました。授業中での練習だけでなく、朝早くから自主的に行っている紅白応援合戦練習や放送原稿の読み合わせなど、子どもたちは毎日とても意欲的に取り組んできました。運動会では、子どもたちの練習の成果や成長した姿をぜひ見ていただきたいと思います。



なお、運動会を観戦するためご来校いただく家族の皆様は、新型コロナウイルス感染症予防のため、同居家族のみとさせていただきます。また、**当日受付にて観覧者名簿と検温結果を提出いただきます。**

**マスクの着用、手のアルコール消毒を徹底いただき、校地内での飲食は水分補給以外禁止**となりますのでご注意ください。(運動会の詳細は次号で紹介します)

## ○児童生徒会総会～学校生活のさらなる充実を目指して～

5月7日（金）6校時に、本校第一体育館にて令和3年度児童生徒会総会を実施いたしました。5年生から9年生の児童生徒会会員が一堂に会し、各委員会や部活動の今年度の活動内容や課題を確認し、稲田学園の学校生活のさらなる充実を目指す質問や意見を出し合いました。建設的な意見や要望に対して、各委員会からは改善に向けての答弁がしっかりとされていました。

（写真は議長の前で答弁する児童生徒会長・●●●●さん）



## ○児童生徒会の各委員会が始動！

上記の児童生徒会総会で出された意見等を生かすために、5月10日（月）放課後、具体的な各委員会の活動について話し合いを持ちました。顧問の先生にアドバイスをもらいながら、よりよい学校生活のために真剣に話し合う姿が見られました。

（写真は活動内容を話し合う児童生徒会執行部（左）と図書委員会（右））



## ○緑の募金のご協力に感謝～集まった募金は1万円超え～



5月10日（月）から13日（木）の期間、児童生徒会環境整備委員会で「緑の募金」活動に取り組みました。これは、募金を通じて須賀川市の緑化推進事業に対する理解と認識を高め、緑化運動の推進を図ることを目的とした活動です。141人の児童生徒・教職員からあわせて10,611円の募金が寄せられました。須賀川市環境部農政農林整備係をとおして、5月14日（金）に寄付金を届けました。

### ★言葉と生きる(3) 「風土をつくる・空気をつくる」

コロナ禍の今ではできないことですが、県外を旅行できる時期に京都市大原にある大原学院を訪ねたことがあります。大原学院は稲田学園と同じ小中一貫校で、長沼の「奇跡のあじさい」が大切に育てられているという須賀川にもゆかりのある学校です。その大原学院の当時の校長先生が学校だよりで紹介していた言葉が、今回の言葉です。その校長先生は、「教職員は風の人、地域・保護者は土の人、2つ合わせて風土がつくられる」と、学校の「風土づくり」の大切さを表現されていました。また、学級や学校の空気については、「授業中の児童生徒の小さな発言やつぶやきを拾い、生かしていくこと」が「空気づくり」の芽になっていくとおっしゃいました。学校教育に携わる者にとって、そしてもちろん学校の責任者である校長にとって、まさに「金言」であると感動いたしました。